

は抵抗があるがうまく掴めるようになってくると楽しい
 素晴らしいものである。

4. まとめ

今回の調査は、パダン・ブキティンギ周辺の数多くの
 候補地を6日という短期間でかなり詳しく比較するこ
 とができた。また、その中から有望な候補地を見出すこ
 とができ、予想以上の成果を得ることができた。これ
 は、今回の調査に対し非常に熱心に協力していただいた
 BPPT, LAPAN, JIF の各位によるところが大きい。な
 お、調査の結論に関しては現在検討中であるとともに、

今回の調査は乾期のほんの1週間程度の調査であるか
 ら、雨期における再調査(今秋予定)を待って言及する
 必要があるといえよう。我々の計画に対し、インドネシ
 ア側も大いに注目しはじめているということを感じる今
 回の調査であった。(T.N.)

以上のように赤道レーダー/IEO 計画は着実に前進し
 ている。このような大型の外国での国際協同計画は、か
 つて我国が実施したことのない規模のものであり、単に
 予算・技術上の問題に留まらず、システム・運営形態等
 に検討すべき課題は山積している。引続き多くの方々の
 御理解・御支援をお願いする次第である。(M.D.Y.)

平成2年度東京大学海洋研究所共同利用研究公募について

応募資格

国・公・私立大学その他の研究機関の研究者ならびに
 これに準ずる者で、海洋の基礎的研究を目的とするもの
 とします。

共同利用研究の種別(申込期限)

(1) 研究船(申込期限11月30日)

研究船白鳳丸(3,987 総トン) 特定海域の研究航
 海を行います。(研究航海概要参照)

研究船淡青丸(469 総トン) 主に近海の研究航海
 を行います。

(2) 研究会(申込期限11月30日)

比較的多人数の研究者による1・2日間のシンポ
 ジウム、あるいは比較的少人数の研究者による数
 日間の討論集会等です。

(3) 外来研究員(申込期限11月30日)

所外の研究者が本所に滞在して研究を行う便宜を
 提供します。

(4) 大槌臨海研究センター(申込期限11月30日)

① 共同利用研究員

センターに滞在して研究を行う便宜を提供しま
 す。

② 研究会

少人数の研究者による討論集会等です。

連絡先

○東京大学海洋研究所

〒164 東京都中野区南台 1-15-1

TEL (03) 376-1251 (代)

○大槌臨海研究センター

〒028-11 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜 2-106-1

TEL (0193) 42-5611 (代)